

ハズル特産

(24)

◇：昨年九月十六日、和東町は鶴川村界をむかえて「茶治産」の完成式をあげた。鉄筋コンクリート平屋二百二十坪方のスマートなクリーム色の冷庫。即ち、特産の和東茶百三トを積戻しに保つて貯蔵できる。これで、製茶の要質をそれぞれ更新しての



活の急ぎ、買いたたかれる心配がなくなった。と茶農は大喜び。如ほち「じ」かり活用して新産地を拡大していった。は「と」ハズルをかけた。年産千四百ト、産下の産茶の六割まで生産する和東町は、山間丘陵地帯という地形が災いして他の作物、専業に恵まれなため、特産の茶に力を入れ、自給化、近代化にいま懸命の努力をうつかして

冷蔵庫活用に期待



販売自給化のホープとして登場した「茶治産」

課題は共販体制の確立

◇：茶農に絶好とされてい

◇：まず生産性の高い茶畑へ

現在の関係者は、生産性の高い茶畑への転換、集中省力化による労働力不足のカバーとコスト切り下げ、流通過程の改善の三点にシフト、製茶業者、

◇：まず生産性の高い茶畑へ

の転換だが和東など戦前原の茶畑は傾斜が鋭すぎるばかりでな

く、一旦して同一品種のように

口入、その実産多な品種がてん

然と隣合って新わっている。由

とらえた茶畑に

くれば、同一

種で二〇一三〇

村も数回の方

が生産量が

る。つまりや

し木して一人

の労働力不足の影響をうけない

になるのにハ

十年かかる茶園

だけに、茶畑改

革は遅延とな

び生産効率が

上のキーメン

上だ。つぎに

約化だが、生

者個人が技術

品質を左右

こともあって、

集産体制を

はコストが低

たにも茶農は

は、山間に種われれる茶畑、申

は、和東、土曜でた、和(を)

は、山間に種われれる茶畑、申

は、和東、土曜でた、和(を)

するとわかっていながら踏み

れないのが現状だ。しかし、茶

は、山間に種われれる茶畑、申

は、和東、土曜でた、和(を)

するとわかっていながら踏み

れないのが現状だ。しかし、茶

は、山間に種われれる茶畑、申

は、和東、土曜でた、和(を)

するとわかっていながら踏み

れないのが現状だ。しかし、茶